

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 名古屋東急ホテル
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 舎人 経 昭
 幹事 池 森 由 幸
 広報・会報委員長 尾 関 武 弘

No. 5

ロータリーの未来は あなたの手の中に

THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS

2009~2010年度 RI会長 ジョン・ケニー

今日の例会

第1282回 平成21年8月18日(火)
 クラブフォーラム
 桜花学園高等学校インターアクトクラブ活動報告

先週の例会

第1281回 平成21年8月4日(火)曇
 講演 “神社林とカシナガキクイムの被害について”
 愛知県樹木医会 事務局長 板倉賢一様
 名古屋分団長 川島大次様

- ◆君が代
- ◆我等の生業
- ◆ゲスト紹介

愛知県樹木医会 事務局長 板倉賢一様
 愛知県樹木医会 名古屋分団長 川島大次様

◆出席報告

会員 50(45)名 出席 36名
 出席率 80%
 前々回 7/21(修正出席率)95,65%

池森幹事報告

- 1) 次回例会終了後、クラブ協議会を開催いたしますので理事役員・各委員会委員長はクラブ計画書をお忘れの無いようお持ちください。
- 2) ロータリーの友8月号が来ておりますのでお帰りにお持ちください。
- 3) 次回例会は8月18日(火)で11日はお休みとなっております。

舎人会長挨拶

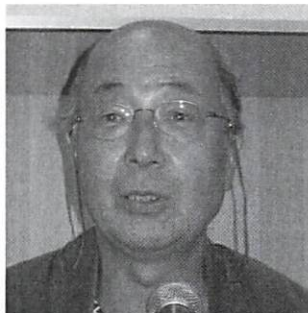
仏像は釈尊が入滅されてから2、3百年たったころ、その芽生えのようなものが現れました。最初は釈尊の姿をうつしとろうとしたものではなく、足跡(仏足石)とか釈尊がその下でさとりを得た菩提樹とか、釈尊の説法を象徴する法輪(輪宝)をもって、釈尊を間接的に表そうとしたものばかりでした。

やがて伝説上の理想の帝王である転輪聖王の身体の特徴をモデルにして、眉間に白毫があるとか、身体は金色に輝いているとかの超人的な特徴から考え出されま

した。これがやがて、仏の三十二相八十種好というかたちでまとめられ今日に至るまで仏像(とくに如来像)作製の基準とされるようになりました。小乗仏教(部派仏教)では基本的に釈尊のみが如来であるとされています。歴史的に現にこの世でさとりを開いた釈尊以外に如来はおらず、釈尊以外に修行の目標となる理想の人物はいないとされます。

一方大乘仏教では、仏となったのは釈尊だけではなく、過去にもいく人かの人が仏となっているはずだという説があり、やがて過去世にも、現在世にも、未来世にも四方四維と上下を加えた十方にも仏は満ちあふれていると主張しました。三世十方の諸仏というのがそれです。阿弥陀如来とか、薬師如来とか、毘盧舎那仏などが大乘仏教の經典にぞくぞくと登場するようになりました。

- ◆ 講演 “神社林とカシナガキクイムの被害について”
 日本樹木医会愛知県支部 技術委員会
 カシナガ消防団事務局長 板倉 賢一様

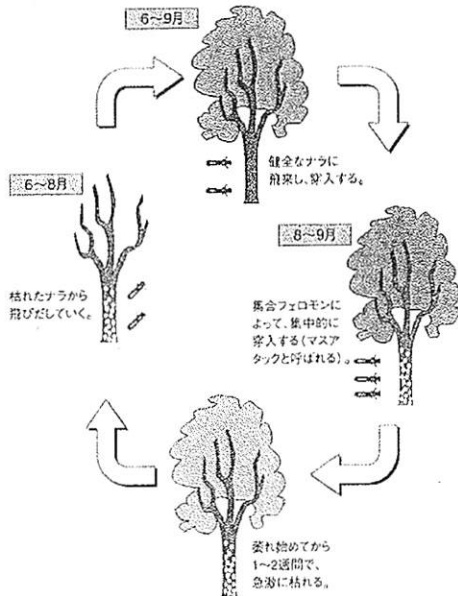


植物は同じ状態を保っているように見えるが、実は常に変化しその姿を変えている。その変化には一定の流れがありそれを「遷移」と称する。「遷移」が最終段階に達することを「極相」(クライマックス)と呼び、「極相」は地域環境によって異なる。

名古屋市周辺では、照葉樹林(照り葉の常緑樹)となる。神社の樹木は、神様は刃物を嫌うという言い伝えをはじめとするさまざまなタブーから守られて、結果として植生遷移のクライマックスを実現した。貴重な植生環境といえる。神社では、特に重要とされる樹木がさまざまであるが、大きく分けて伊勢神宮型の針葉樹中心と、明治神宮型の照葉樹中心の2種類に分けられる。名古屋周辺の神社は基本的に明治神宮型であるが、その中に雑木林の形成するドングリのなる木が多く進出していることが特徴的である。そのドングリのなる木に今ひそかに致命的な病気が進出しつつある。カシノナガキクイムシによるナラ枯れ(以下「カシナガ被害」)がそれである。「カシノナガ被害」はマツ枯れと同じ感染症で、水枯れを起こし林内の樹木に蔓延する。幹から細かな白い粉をふくのが病徴である。大径木があっけなく枯れてしまう。

1990年以降被害は、日本海沿岸部から太平洋側に波及している。大きく広がってしまったあとでは手に負えない被害を、早期発見・初期消火の目的から防除しようと、日本樹木医会愛知県支部の有志によって「カシナガ消防団」が結成された。里山林を守るためにも「カシナガ被害」の防除に皆様の協力が欠かせない。

ナラ枯れサイクルとカシノガキクイムシの生態



▲ナラ類枯損サイクルとカシノガキクイムシの生態(図2)

“城山八幡宮八幡宮社叢とナラ枯れ被害について”

日本樹木医会愛知県支部

カシナガ消防団名古屋分団長 川島 大次様



現在、愛知県下にナラ枯れ(正式名称『ブナ科樹木萎凋病』)という樹の伝性病が流行しています。発病すると進行が早く、枯死率の高い病気です。

この病気が、名古屋市千種区の城山八幡宮社叢内で確認され、被害が拡大しています。八幡宮は、境内に約1

万坪の社叢があり、生態系豊かで多くの生物が共生している大変貴重な空間となっています。その社叢の中に樹高15m、幹周り3.5mのアベマキのご神木があます。そのご神木が平成19年8月にナラ枯れにかかっていることがわかりました。この当時、まだ治療方法が確立されておらず、本来ならナラ枯れの樹は、あきらめていましたが、宮司さんの守ってほしいという強い気持ちとけん命に生きようとしているご神木をみて、何とか助けようと殺菌剤の樹幹注入を始めとするいろいろな治療を施しました。また、このご神木を守るために社叢全体にも治療を施しました。そのかいがあつて、ご神木は元気になってくれました。しかし、またナラ枯れにかかる可能性があります。社叢では、ナラ枯れの被害で今年も6本の樹が枯れました。予断の許さない状況です。

今回名古屋千種ロータリークラブのご支援により、

この2年間の治療の軌跡をパンフレットにまとめることが出来ました。このパンフレットを使い、この病気を多くの人に知ってもらい、早期発見、対処、正しい防除を行うことにより、一本でも多くの樹を救い、貴重な森林を守ることが出来ればと思っています。

この二年間、治療やそれ以外の多くのことをこの病気を通じて学ぶことが出来ました。未熟な自分を信じて治療を任せてくれたこと、本当に感謝しています。

これからもご神木と城山八幡宮社叢の保全に努力していきます。

(紹介 吉田玄君)

ニコボックス

小山 雅弘

若手会の余剰金8千円をニコボックスに頂きました

水谷 祥督

盆の法要が始まりました

大谷 恩

桜花学園高校バスケットボール部全国優勝しました
応援ありがとうございました

佐久間良治

第一回季楽会楽しみにしています 林正路君よろしく
お願いいたします

佐々木敏夫

前回コンペ ハンディーに恵まれ初優勝しました

舎人 経昭

やっと梅雨が明けたら蟬の音が小さくなり、台風も7、8号が発生し天候が不順です 身体に気を付けて下さい

油田 弘佑

足立 一郎

浅井 誠寿

江口 武史

萩原喜代子

池森 由幸

加藤 重雄

川端 圭

小林 明

小林 英毅

久野 峯一

牧野登志子

松居 敬二

宮尾 紘司

西川 豊長

大口 弘和

大川 勝平

尾関 武弘

佐野 寛

鈴木 聖三

竹内 克豊

和田 正敏

渡邊 源市

吉田 節美

吉田 玄

祝・桜花学園高校バスケット部全国優勝!

「カシナガ消防団」の活動 ご苦労様です

伊藤 健文

会員誕生日祝い

山本 英次

夫人誕生日祝い

堀江 宏輝

ホームクラブご無沙汰しました

会員誕生日祝い



合計 84,000 円

次回例会 平成21年8月25日(火)

4F 栄の間

友愛の日